

「そうだったのか!! バイオの世界」 2021.11.19 (金)

第5回

「日本のバイオ研究がノーベル賞を取った理由」

～ 医薬開発へのインパクトと次世代医療 ～

講師:長浜バイオ大学 教授 長谷川 慎 先生

ひとこと感想 まとめ

たくさんのひとことありがとうございました。みんなで共有いたします。

今回は受講生の皆さんが興味のある、ガンやアルツハイマー、そのお薬の開発についてや、ノーベル賞を取った理由をお話してくださいました。

皆さんから「わかりやすかった」というお声も多く、長谷川先生からも「来年度もよろしくお願ひします!」とお声を聞けました。また、質問も多くの方からいただき、長谷川先生の知る限りをお答えいただきました!!

【皆さんの声】



- ◆ 日本人がノーベル賞をもらったと聞くのはうれしいですが、海外で研究されている方が多いのが気になります。【女性 74 歳】
- ◆ 今一番関心のあるがんの治療について先生から興味深くお聞きしました。標準医療など日頃から心の準備など考えておかないと思っています。ありがとうございました。【女性 72 歳】

- ◆ 興味深いお話ありがとうございました。絵を文章でわかりやすい説明であつという間に時間が過ぎました。祖母が白血病でなくなったのは約 47 年前。日大病院に入院していて、埼玉に住んでいた私は母と毎日お見舞いに行っていました。今なら完治していたかもしれないんですね。池江さんも完治されて良かったです。息子も同じ年なので他人事ではなく本当に良かった。研究者の方々にはただただ感謝です。【女性 53 歳】
- ◆ 先生のお話しはわかりやすくてとても良かったです。ありがとうございました。【女性 54 歳】
- ◆ オプジーボの免疫にはアクセルとブレーキのメカニズム、理解しやすいイラストと長谷川先生の説明で解った感じがします。今後この様なコンセプトを見本に進化して広く利用される事が期待されます。【男性 72 歳】
- ◆ 免疫療法、抗がん剤との併用の抗体治療など、とても貴重な情報ありがとうございました。新しい治療薬はやっぱり、副反応がこわいですね！体に負担のかからない、また効果のある（100%？）理想の治療薬を期待しています。【女性 73 歳】
- ◆ ゾウが癌になりにくいことやアリクイやカモノハシなど癌にならない動物がいることを初めて知りました。ネズミの仲間は短命だと思っていましたが、ハダカデバネズミは癌にならず、老化せず 30 年以上も生きると知り驚きました。そのような話から、分子標的薬、オプジーボ、アルツハイマー病の治療薬（アデュカヌマブ）まで、分かりやすく説明していただき興味深く聴かせていただきまいた。【女性 57 歳】
- ◆ 最後のお話が心に残りました。今の政治、経済体制の「ふところ」が小さくなっていると思います。即効性ばかりが求められると本来の学術文化がわい小化されてしまっていると強く思っています。学術・文化だけでなく教育や福祉、医療までも委縮、硬直化しているとさえ思っています。【男性 68 歳】
- ◆ 先日、益川敏英さん追悼の書物の中に「僕がノーベル賞をとった理由」を見つけたのですが、あれっ？と思い驚きました。昨今のすぐに役立つものを選別するような事など、自由度の大きさがあって、大目に見て放つといてくれた事が、その理由だというのが、どちらからも伺えました。運よく粘り強く、くじけず継続が今後も放つとく素地が日本に許されるか、それは否と思いました。【女性 83 歳】
- ◆ ガン治療に関する詳細が理解できました。たいへん参考になりました。ガンになったときに、受け身ではなく主体的に対応できるようさらに勉強したいと思います。【男性 73 歳】

- ◆ 難しいですが、おもしろいです。ありがとうございました。【女性 71 歳】
- ◆ むずかしい内容ですが、割とわかりやすく進め方もお話も上手で、よかったです。免疫の事が少し深いところを知れました。歴史から現在の状況、未来へとつながるバイオ研究に期待します。田中耕一さんのお話も聞いて楽しかったです。なかなか副作用もあるので、お薬開発は大変なんだと理解しました。【女性 67 歳】
- ◆ 鈴木さん、早く良くなって元気な顔でお会いできますように・・・
本日の講義は難しい用語が多く、ちょっぴり理解に苦しみました。バイオの世界の一部をのぞいた様な気がしました。長谷川先生！是非ノーベル賞をめざして下さい。
【男性 70 歳】
- ◆ ジェンナーの話は意外でした。自分の子供に接種したものと思っていました。更に 6W 後、天然痘の接種をすることは・・・。田中耕一さんの話も興味深かったです。2 度のセレンディピティ、2 度目のノーベル賞があるかも・・・。【男性 70 歳】
- ◆ 私の身近にもガンでなくなる人が散見され、ガンは決して他人事でなく、且つ最新の話
題ですので、今日は実践的な講座を受講出来、本当に有意義でした。【男性 79 歳】
- ◆ とても良い声質で聞き取りやすいのですが、「えー」という言葉が多いのが気になりました。
【女性 70 歳】
- ◆ 本日の長谷川先生の講義、とても良くわかりやすかったです。興味深く勉強できました。
ただ資料の字が小さく読み取れないにくかったのが残念です。【女性】
- ◆ ものすごく面白く、大切な分野のお話を伺いました。このような研究が続けられている
に敬意を表します。これから適応障害とかうつとかのメンタル関係に踏み込んで、研究
が進められる要素が、この世界にあるでしょうか。【女性】
- ◆ 日本の研究者について
 - ① 研究者の数が少なくなっている。
 - ② 研究者の研究時間の減少が顕著である。
 - ③ 研究者の研究予算が停滞している。が課題となっていると思うが、こうした中での日本のバイオ研究のノーベル賞受賞者が
多いことは素晴らしいことと感じました。【男性 77 歳】
- ◆ 抗体治療のメカニズムをおぼろげながら、わかり良かった。【女性 73 歳】

【 質問コーナー ～聞きたいカード～ 】

皆さまより、たくさんのご質問をいただきました。

- ・ガンはなぜ「寛解」というのですか？
一度何かのガンにかかったら「治る」状態にはならないのですか？
- ・デスモイド腫瘍はどういうものですか？
- ・ハダカデバネズミは老化せずに 30 年生きる
→どうやって死んでいくのか？
- ・ガンにならない動物にがん細胞を植え付けるとガン細胞はなくなるのでしょうか？
- ・抗がん剤というと化学療法というイメージが強いのですが、今現在、分子標的療法はどの程度の割合で適用されているのですか。
- ・ガン遺伝子があることのメリットは何ですか。
- ・将来、ガン遺伝子、ガン抑制遺伝子の量を減らしたり増やしたりすることは可能ですか。
- ・先生はガンについて研究されていますので、ガンになることについて恐さは少ないでしょうか？
- ・DNAがメチル化すればがんになる？
ということなのか簡単に教えていただけると嬉しいです。よろしくお願いいたします。

